

Week of May 3, 2026 - I AM The Good Shepherd　　Small Group Lesson 4

知り合う

イエスがご自身を「良い羊飼い」、弟子たちを「羊」と象徴的に呼んだのはなぜだと思いますか？また、イエスと従う者たちを描写する他のメタファー（隠喩）で、思いつくものはありますか？

聖句　ヨハネ 10:11-18, 27-30 (聖書協会共同訳)

11 「私は良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。12 羊飼いでなく、自分の羊を持
たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。――狼は羊を奪い、また追い散
らす。―― 13 彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。 14 私は良い羊飼いである。
私は自分の羊を知っており、羊も私を知っている。 15 それは、父が私を知っておられ、私が父を知っ
ているのと同じである。私は羊のために命を捨てる。 16 私には、この囲いに入っていないほかの羊が
いる。その羊をも導かなければならない。その羊も私の声を聞き分ける。こうして、一つの群れ、一
人の羊飼いとなる。 17 私は命を再び受けるために、捨てる。それゆえ、父は私を愛してくださる。
18 誰も私から命を取り去ることはできない。私は自分でそれを捨てる。私は命を捨てることもでき、
それを再び受けることもできる。これは、私が父から受けた戒めである。」

27 「私の羊は私の声を聞き分ける。私は彼らを知っており、彼らは私に従う。 28 私は彼らに永遠の
命を与える。彼らは決して滅びず、また、彼らを私の手から奪う者はいない。 29 私に彼らを与えてく
ださった父は、すべてのものより偉大であり、誰も彼らを父の手から奪うことはできない。 30 私と父
とは一つである。」

学び & Apply

1. 「良い羊飼い」と「雇い人」は、どのような点が異なりますか？その中で最も重要な違いは何だと思いますか？この二つの姿から学べることは、あなたの家族、スモールグループ、あるいはミニストリーにおけるリーダーシップや仕え方にどのように影響を与えますか？(11-13節)
2. 良い羊飼いであるイエスは、弟子たちとの関係を「互いに知っている」関係であると述べています。イエスが弟子を知り、弟子がイエスを知るとはどういう意味でしょうか？イエスに従う者として、自分がイエスを知っていると、どうすれば分かりますか？また、どのようにして主への知識を深めていますか？(14節)
3. イエスは「ほかの羊」を連れて来る必要があると述べています。この「ほかの羊」とは誰のことでしょうか？なぜ彼らを連れて来なければならないのでしょうか？あなたは、自分のスモールグループのいつもの雰囲気やメンバー構成とは異なる人々に対して、心を開いて手を差し伸べ、歓迎することができますか？彼らをグループに受け入れる際、あなたにとって何がその「力（インスピレーション）」となるべきでしょうか？（16節）
4. イエスが弟子たちに対して示した、最も深い愛の行為とは何でしょうか。なぜその行為が、父なる神がイエスを愛しておられる理由となっているのでしょうか。あなたは、自分の身近な人々に対して、それと同じほどの愛を示すことができますか？（14、17-18節）
5. 27～30節によると、弟子の「永遠の安全（救いの確信）」の根拠は何ですか？自分がキリストにあって安全であるということを、どのようにして知ることができますか？
6. イエスが「良い羊飼い」であることを、未信者の方々と分かち合うために、あなたやあなたのスモールグループで計画できることは何ですか？アウトリーチのアイデアを出し合い、そのうちの少なくとも一つを実践できるようにお祈りしましょう。

具体的な祈りの課題を分かち合い、お互いに仕え合いましょう。

レッスンPDF: gotbc.org/sg1826jp　　学びの聖句: gotbc.org/sg1826j